

富士川町

第 64 号

令和8年(2026年)4月24日発行



議会だより

伝統文化子ども教室合同発表会
お茶とおことの会



伝統文化子ども教室の発表会

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



「町内初！体育館へ空調設置！」 富士川中学校へ

予算
総額

108億6,929万円

前年度比
15.9%増

令和8年3月定例会を3月6日から23日の18日間開催した。条例改正案5件、条件廃止案1件、不動産譲与案1件、令和7年度補正予算案6件、令和8年度予算案15件、計画変更案1件、規約変更案1件、合計30件および人権擁護委員、教育委員会委員などの人事案3件を慎重審議し、全会一致で原案のとおり可決した。また、当初予算については、予算特別委員会を設置し、分科会および全体会で審議し、討論、採決の結果原案のとおり可決した。

一般会計予算(歳入内訳)

()内は構成比率

自主財源 38億180万円(34.9%)

町で集めた財源

● 町税 皆さんが納めた税金	15億5,800万円(14.3%)
● 繰入金 基金などから	15億9,313万円(14.6%)
● 分担金・負担金	4,377万円(0.4%)
● 使用料・手数料	8,760万円(0.8%)
● 財産収入	2,687万円(0.3%)
● 寄附金	3億5,100万円(3.2%)
● 繰越金	1,275万円(0.1%)
● 諸収入	1億2,868万円(1.2%)

自主財源とは
自主的に収入
できる財源



依存財源とは
国や県の基準に
基づいて
交付されたり、
割り当てられたりする
町の収入

依存財源 70億6,750万円(65.1%)

国・県からの収入・借入金などの財源

● 地方交付税 国から交付されるお金	28億円(25.8%)
● 国庫支出金 国からの補助金など	9億7,745万円(9.0%)
● 県支出金 県からの補助金など	6億2,755万円(5.8%)
● 町債 町が借入れるお金	21億3,674万円(19.7%)
● 地方譲与税	8,186万円(0.7%)
● 利子割交付金	544万円(0.1%)
● 配当割交付金	1,134万円(0.1%)
● 株式等譲渡所得割交付金	1,541万円(0.1%)
● 法人事業税交付金	2,336万円(0.2%)
● 地方消費税交付金	3億6,706万円(3.4%)
● ゴルフ場利用税交付金	34万円(0.0%)
● 環境性能割交付金	753万円(0.1%)
● 地方特例交付金	1,227万円(0.1%)
● 交通安全対策特別交付金	115万円(0.0%)

※単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

第1回定例会

令和8年3月6日～3月23日

P.1 表紙「伝統文化子ども 教室の発表会」

この会は、山田流箏曲(おこと)の演奏をしているグループです。毎年、教育委員会主催の教室で子どもたちにお箏の演奏を教えながら、作法なども伝えています。教室最後の発表会では、子どもたちの成長ぶりに感動し、私たちの活力になっています。

P.2 目次

P.2～ 第1回定例会

P.2 一般会計予算

P.3 注目事業・ 特別会計予算

P.4 予算特別委員会 ひとつづくり分科会

P.5 予算特別委員会 まちづくり分科会

P.6 条例改正案他

P.7 主な質疑

P.8～ 通告一覧・一般質問

1. 宇田川 朱恵議員
2. 望月 眞議員
3. 小林 有紀子議員
4. 深澤 一幸議員

P.10 臨時会

P.11 こども議会提言書回答

P.12～ 各事務組合報告

P.14 委員会活動 まちづくり ・広報常任委員会

P.15 モニターさんからの ご意見・募集記事

P.16 裏表紙 富士川町今昔物語

一般会計予算(歳出内訳)

()内は構成比率

● 議会費	8,172万円 (0.8%)	● 土木費	4億7,673万円 (4.4%)
● 総務費	12億1,928万円 (11.2%)	● 消防費	3億8,549万円 (3.5%)
● 民生費	25億7,675万円 (23.7%)	● 教育費	34億 498万円 (31.3%)
● 衛生費	9億4,960万円 (8.7%)	● 災害復旧費	268万円 (0.0%)
● 労働費	800万円 (0.1%)	● 公債費	8億1,193万円 (7.5%)
● 農林水産業費	2億5,671万円 (2.4%)	● 諸支出金	5億3,763万円 (4.9%)
● 商工費	1億5,079万円 (1.4%)	● 予備費	700万円 (0.1%)

新年度の注目事業

● 富士川中学校新校舎整備事業	19億1,016万円
● 富士川中学校屋内運動場LED照明及び空調設備設置事業	9,885万円
● 増穂小学校給排水管改修事業	1億8,579万円
● ふるさと納税推進業務など	1億2,573万円
● かじかざわ児童センター LED照明整備事業	1,918万円
● 富士川ふれあいスポーツ公園測量設計業務	900万円
● 富士川リバーサイドパーク事業	1,788万円
● 峡南医療センター企業団運営負担金	3億5,629万円
● 第3分団消防ポンプ自動車購入事業	2,604万円
● 旧菴米学校大規模改修事業(第1期)	5,387万円
● 社会体育施設LED照明整備事業	1億 179万円



中学校体育館に空調設備を整備



中学校建設、順調に進行中



グラウンド照明LED化を推進



旧菴米学校の改修工事を開始



地域防災力向上へ、新ポンプ車を計画

令和8年度特別会計・公営企業会計予算 (前年度比%)

● 国民健康保険	14億8,331万円 (△0.5%)	● 鹿島財産区	5万円 (0.0%)
● 後期高齢者医療	5億 619万円 (3.1%)	● カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	44万円 (0.0%)
● 介護保険	17億5,424万円 (△1.9%)	● 峡南地区通級指導教室共同設置	203万円 (4.3%)
● 介護サービス事業	5,931万円 (△4.6%)	● 峡南地区充指導主事共同設置	72万円 (△1.9%)
● 奨学金	25万円 (0.0%)	● 工業団地整備事業	3,281万円 (皆増)
● 箱原農業集落排水事業	439万円 (△0.5)		
● 水道事業	収益的支出 2億4,887万円 (△1.3%) 資本的支出 1億4,692万円 (10.9%)		
● 簡易水道事業	収益的支出 1億2,025万円 (4.4%) 資本的支出 7,946万円 (△2.3%)		
● 下水道事業	収益的支出 5億6,120万円 (△0.1%) 資本的支出 4億1,675万円 (△1.3%)		

※単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

予算特別委員会報告

(令和8年度予算) -分科会報告-

子育て支援課

子育て支援課

問 鯉沢さくらっこ保育園の備品購入費は。

答 避難車、0歳児お散歩車、0歳児部屋用遊具を購入するため。

設定費540万円、備品購入費の児童生徒学習用端末1870万円は。

答 令和8年度は340台購入、令和9年度、令和10年度の3年間かけて約930台を整備していく。

政策秘書課

問 ふるさと納税寄付、企業版ふるさと納税の歳入が8000万円に増加しているが。

答 令和6年度実績と、令和7年度見込みを基に算定した。



3年間で更新予定の学習用端末

問 P R T i m e s 等への記事掲載10万円は。

答 広告サービス会社であり、様々なサイトに一斉配信を行うため、富士川まつり、令和9年の大法師さくら祭り、そのほか効果的なイベントがあったときのために3回分予算計上をしている。

教育総務課

問 児童生徒用学習端末

問 フリースクール利用支援補助金72万円は。

答 非課税世帯対象で、年に4回、月3万円上限、実績に基づき補助をしている。県から2分の1補助がある。

問 学校給食費軽減交付金3152万円は。

答 国2分の1、県2分の1の交付金であり、小学生のみを対象として月5200円×11ヶ月(8月を除く)×551

名で算出している。

生涯学習課

問 民俗資料館修繕費5387万円は。

答 3年間かけて行う修繕工事であり、令和8年度は、素屋根で建物全体を覆い、屋根・瓦・外壁等の劣化部分を解体し調査をしながら修繕、令和9年度は基礎の補強や外部修理の工事、令和10年度は外部工事の残りと内部の建具などの修繕を行う予定である。



雨漏りで修繕を待つ民俗資料館

福祉保健課

問 保健福祉支援センター長寿命化事業215万円は。

答 築80年まで延長する目的で行う。令和8年度は、緊急度が高い屋上防水工事、エレベーター修繕工事、2階生活指導室風呂給湯器交換工事を

行う予定である。

財務課

問 総合事業のサービス・活動B事業205万円は。

答 ボランティア団体が立ち上げをして、掃除、ベッドメイキングなどを行う。立ち上げ費用に5万円×5団体、活動助成として、3万円×12ヶ月×5団体分である。

町民生活課

問 自治会活動各区保険負担金が計上されていないが。

答 町の総合賠償保険が今まで町が主催する行事が対象だったが、区が独自に行う事業も対象となったので自治会活動保険に加入する必要がなくなったため。

町民生活課

問 環境衛生費委託料の町内水路清掃等土砂処理業務422万円は。

答 今まで水路清掃で出た土砂を埋めていた場所が満杯になってしまったため、業者に委託してリサイクル土砂として活用される。

まちづくり分科会報告

管財課

問 電子入札共同化事業負担金は。

答 現状は書類ベースの入札事務であるが、県内市町村を調査して、この電子入札共同処理に20町村が参加表明した。令和8年度中にシステム構築し、令和9年度から実施予定の負担金である。

防災交通課

問 グリーンスローモビリティー使用料135万円とあるが運行計画は。

答 期間は1ヶ月で2週間ずつ2ヶ所の運行を考えており、前回よりコース変更や距離の延長を検討している。



問 防犯カメラ設置補助金30万円は。

答 一世帯につき個人が設置する費用の2分の1、上限15000円を1回に限り補助をする。



補助対象の防犯カメラ

税務課

問 軽自動車税種別割現年課税分6171万円について、前年度より登録台数が50台減少する見込みだが、税収増加を見込む要因は。

答 登録年度により税率が変わる。買い替えなどに伴う新車登録は新税率になり、乗用

軽自動車は1台7200円が10800円、貨物軽自動車1台4000円が5000円になるため。

上下水道課

問 水質検査委託料1172万円の増加要因は。

答 各検査単価増による増加と、令和8年度よりPFASの検査が必須項目になり、年3回の水質検査を予定している。

問 マンホールポンプ機器更新等設計業務委託550万円は。

答 駅前通二丁目地区で、山王地区住宅が増加しポンプの更新が必要となったための設計委託である。

都市整備課

問 「ふれあいスポーツ公園」を全面芝生化にすると聞いたが。

答 芝生については人工芝か野芝か決めていない。また町民の声を聞きながら並行して設計を行う。



改修予定のふれあいスポーツ公園

問 富士川町やまなしKAITEKI住宅普及促進事業費補助金とは。

答 長期優良住宅、県産材を使った木造の住宅、省エネ住宅に対する補助金であり、令和7年10月から富士川町と山梨県でこの補助金事業を行っている。

土木整備課

問 道路面標示設置工事350万円は。

答 中学校近くの矢羽根標示の延長で片側100m×4を予定した。

問 富士川町浸水想定区域図作成業務委託とは。

答 内水による浸水場所を示す図である。

産業振興課

問 かじかの湯の指定管理委託料2000万円の負担は大きいですが、施設の運営の在り方は。

答 施設全体の在り方について庁内で検討を進めている。

問 工業団地整備事業特別会計予算の委託料2627万円は。

答 土地に関する調査や不動産鑑定などの基礎調査費である。

問 緊急銃猟関連の予算は。

答 令和7年9月の法改正により、ツキノワグマが人の日常生活圏に出没した場合、緊急銃猟制度による捕獲を町が実施することになり、熊スプレーやヘルメット等、総合賠償保障保険料15万5千円、盾やビデオカメラ、捕獲者報酬1日5万円×5人、パトロール報酬5千円×10人などである。

条例改正5議案・条例廃止1議案可決

条例改正

富士川町消防団の報酬に関する条例の一部改正

- ・副分団長 年額 45,000円 → 年額 50,000円
- ・部長 年額 32,000円 → 年額 42,000円
- ・班長 年額 22,000円 → 年額 39,000円
- ・機械係 年額 21,000円 → 年額 37,000円
- ・団員 年額 20,000円 → 年額 36,500円
- ・水火災等の災害、1回につき
6,000円(ただし、4時間未満は3,000円)
↓
8,000円(ただし、4時間未満は4,000円)

富士川町職員給与条例等の一部改正

人事院及び山梨県人事委員会の勧告に鑑み改正を行う。

富士川町特別会計設置条例の一部改正

工業団地整備事業に伴い、富士川町特別会計設置条例の改正を行う。

富士川町社会体育施設条例の一部改正

子どもたちの健全な育成と健康増進及び地域スポーツの振興を図るため、プールの使用料について改正を行う。(右図参照)

富士川町火入れに関する条例の一部改正

峡南広域行政組合火災予防条例の一部改正に伴い、山林への火入れの中止要件の改正を行う。

条例廃止

富士川町鹿島財産区基金条例等を廃止する条例

富士川町鹿島財産区管理会が解散することに伴い、富士川町鹿島財産区基金条例等を廃止する。

富士川町社会体育施設条例の一部改正

旧			
区分	施設名	使用料	摘要
プール	利根川公園	220円/人	・中学生以下 110円 ・コース貸 1,580円
	五開プール	220円/人	
	中部プール	220円/人	

備考

1. 町外者が使用する場合は、表に定める額の2倍に相当する額とする。



新

区分	施設名	使用料	摘要
プール	利根川公園	220円/人	利根川公園プール ・町内の中学生以下 無料
	五開プール	無料	・町外の中学生以下 220円
	中部プール	無料	・コース貸 2,000円

備考

1. 町外者が使用する場合は、表に定める額の2倍に相当する額（摘要欄に定めがある場合を除く。）とする。

おもな質疑

条例改正案件

富士川町工業団地整備事業特別会計について

問 整備予定地の場所と事業規模はどの程度を想定しているのか。

答 候補地選定調査を行い、町内の西部東部で工業団地可能な8エリア10地区を選定した。今後その中から候補地と規模を検討していく。

問 特別会計にする理由は。

答 工業団地整備に係る経費を明確に区分し、効率のかつ適正な財政運営を図るため、特別会計を設置する。

問 五開プールと中部プールを無料にした要因は。

答 8月1日から8月お盆まで、帰省客のためにも無料で開放してほしいとの要望があったため、無料とした。

富士川町消防団員給与等の改正について

問 消防団の報酬増額改定に至った要因は。

答 消防団員の処遇を改善し安定した団員の確保に繋げるために行う。金額については、国の基準に基づいて、令和6年度から段階的に引き上げている。

問 町独自の改定はできないか。

答 国の示す基準については交付税の対象となるため行うが、それを超えて町独自でということは現時点では考えていない。

補正予算案件

問 防災重点農業用ため池緊急整備事業の場所は。

答 小室の八雲池である。

問 緊急に整備しなければいけないのか。

答 山梨県が指定した防災重点ため池で、決壊したときに下流の地区において被害が想定されるため早急に改修をする。



八雲池

問 急傾斜地崩壊対策事業の内容は。

答 急傾斜地法に基づき、山梨県が指定したがけ崩れ危険区域で対策工事を実施する事業であり、今回は鬼島地内の町営中部住宅の北側法面の斜面工事である。



建物にせまる急傾斜地

一 般 質 問

ズバリ!
聞きます!

通 告 一 覧

1 宇田川 朱恵 議員

- 選挙事務について
- 地産地消給食の推進について

2 望月 眞 議員

- 第三次富士川町総合計画について

3 小林 有紀子 議員

- 次世代につなぐ魅力と活力あふれる地域づくりについて

4 深澤 一幸 議員

- 富士川町観光物産協会の活動状況と今後のあり方について
- 富士川いきいきスポーツ公園、スケートボードパーク事業について

動画はこちらから  YouTube



通告一覧全ての問と答は掲載されてはおりません。二次元コード及びCATVをご視聴ください。

宇田川 朱恵 議員



問 電子投票機の導入についての考えは。

財務課長 電子投票は、平成14年に執行された「地方自治体電子投票特例法」に基づき、自治体が条例を制定すれば地方選挙で実施できるものであるが、これまでの実施例は、全国で26事例にとどまっている。電子投票では、開票時間の短縮や人員削減、無効票が減るなどのメリットがあるが、一方で、システムトラブルの影響で選挙無効が確定したことや総務省が認めたシステムの採用、必要な機

問

電子投票機の導入は

答

国・県の動向を注視し、検討していく

器のレンタルに経費がかかるなど導入に向けた課題がある。先進事例の研究や国・県の動向などを注視し、慎重に検討していく。

地産地消給食について

問 地産地消給食に取り組む目的は。

町長 本町が地産地消給食に取り組む目的は、学校給食を通じて、こどもたちに地域農業や食文化への理解と関心を深めてもらうとともに、新鮮な食材を活用することにある。地産地消給食は、こども

たちの健全な成長を支え、ると同時に、農業振興や地域経済の循環、さらには物価高騰や農業の担い手不足といった課題への対応にもつながる重要な施策であると考えている。今後も、学校給食については、地産地消をはじめとする食育の推進に、引き続き取り組んでいく。



タブレット型電子投票機
出典:京セラ株式会社ホームページ



問 第三次富士川町総合計画のコンセプトは

答 持続可能なまちづくりを推進

問 地域医療体制の充実の取組として、具体的には、峡南医療センター企業団の支援を意図しているのか。

住民が必要な時に必要な医療を受けられる体制を確保するため、休日夜間救急医療体制の確立にも取り組んでいる。

は、これまでも進めてきた「対話と現場主義による協働のまちづくり」を基本姿勢として、町民との信頼関係をさらに深めることが重要であり、町民との対話を重ねながら現場からまちづくりを進め、次世代へ引き継ぐことのできる持続可能で特色あるまちづくりを推進していく考えである。今後、着実に取り組んでいく。

は、企業団の構成町として地域医療の継続を図るため、企業団に対して財政的支援を行うとともに、事務職員の派遣など人的支援も行っている。また、地域医療体制の整備として、南巨摩医師会や医療機関、県と連携し、

問 持続可能で特色あるまちづくりのために、現時点におけるコンセプトは。

町長 このたびの町長選挙においては、「7つのまちづくりビジョン」を掲げて選挙に臨み、町民の信任をいただいた。このビジョンは第三次総合計画に基づくものであり、将来像の実現に向けて



第三次総合計画



問 農村RMO事業推進の支援体制は

答 全庁体制で事業を推進していく

問 農村RMOを全庁あげて継続的に支援する考えは。

を確立していくことを「将来ビジョン」に掲げている。今後も、地域の課題解決に向けて、全庁体制で事業を推進していきたい。

必要がある。今回「富士川町農村RMO中部・五開地域づくり協議会」による、学校施設以外での校舎の活用が、国から認められた。農村RMO以外の活用については、その用途によって、国による承認が必要のため研究をしていく。

産業振興課長 農村RMO形成推進事業は、地域の課題を解決し、持続可能な地域づくりを目指すための事業である。各地域における様々な分野の課題に対応していくためには、各課が連携し、横断的な施策展開を図っていくことが必要となる。また国においても、農村RMOの関連施策が各省庁で展開されていることから、町としても事業の推進にあたっては、全庁体制

問 旧中部小学校の一部を農村RMOで利活用することとなったが、地域づくりの拠点としての考えは。

政策秘書課長 旧中部小学校校舎は建設時や改修時に文部科学省の補助金を導入したことから、別の用途に活用しようとする場合は、具体的な活用方法を国と協議し承認を得る



交流ルームと加工場として利活用



問 富士川町観光物産協会の情報発信体制の考えは。

産業振興課長 協会における情報発信については、紙媒体、SNS、ホームページで行っている。紙媒体につきましても、観光パンフレットをイベント出店時に配布するとともに、道の駅富士川や談合坂SAなど関係施設に設置し、周知に努めている。SNSにつきましてはは、協会の活動をリアルタイムで伝えることができるため、昨年度から運用を開始し、町内外への情

問 観光物産協会の情報発信体制は

答 多様な方法で情報発信を行う

報発信の強化を図っている。ホームページにつきましても、更新の遅れがあるので、適時情報発信できるように改善する。今後、引き続き多様な方法で情報発信を行っていく。

スケートボードパークの有料貸出しは

問 富士川町いきいきスポーツ公園スケートボードパークを有料で貸出すことができるか。

都市整備課長 使用料については、当面の間、無料としているが、利

用状況等により使用料の徴収について検討していく。また、スケートボードパークの利用促進のため、様々なイベントの誘致を行い、施設全体の貸出しによる使用料徴収も検討する。



完成間近のスケートボードパーク

臨時会

令和8年度 第1回

1月13日第1回臨時会を開催し、専決処分承認案1件、補正予算案1件を審議し原案のとおり可決した。

専決処分承認案1件

一般会計7,683万円(総額)を専決処分*し、補正後の予算総額96億3,735万円
内容は ●物価高対応子育て応援給付金
●鯉沢ばやし用太鼓等購入

一般会計補正予算案1件

一般会計2億12万円
補正後の予算総額98億3,748万円
●物価高騰対応特別定額給付金

*専決処分とは、本来、議会の議決が必要な案件を緊急時や軽微な場合に、町長の権限で決定、のちに議会へ報告し承認を受けること。

令和8年度 第2回

2月10日第2回臨時会を開催し、専決処分承認案1件、契約締結案1件を審議し原案のとおり可決した。

専決処分承認案1件

一般会計1,395万円(総額)
補正後の予算総額98億5,142万円
●衆議院議員選挙費

契約締結案1件

●旧鯉沢中学校屋内運動場屋上防水改修工事
請負変更契約締結

屋内運動場屋上防水改修工事施工中に、既存の防水層を全面撤去する必要性が生じたこと、陸屋根トップライト部の破損による雨漏り防止策を講ずる等、不測の事態が生じた。

契約の相手 山梨県甲府市池田一丁目4番20号
株式会社 土屋工業
代表取締役 土屋 仁

契約額の変更 変更前 8,169万7,000円
変更後 8,392万4,500円

令和
7年度

こども議会提言書

の回答

令和7年7月31日に開催されたこども議会の提案を受けて、
議会が町長、教育長へ提出した提言書への回答が町からありました。

プログラミング教室の開催 こどもチャレンジ教室の開催

答 今年度も町でいくつかの教室を開催した。
これからも多くの方が参加できるように教室
の企画を考えていきたい。

芸能人などを活用したまちおこし、 サプライズ学校訪問

答 令和7年度は(株)ホリプロなどと連携して事
業を行った。これからも連携をしていきたい。

リニア建設の反対 環境に配慮したまちづくり

答 リニア建設工事にあたっては、安全や環境
への配慮をした工事を行っていく。
また、町では、2050年のカーボンニュートラ
ルに向けて様々な取り組んでいく。

富士川病院の存続と 学校での医療従事者の授業の実施

答 富士川病院の健全経営について切れ目の
ない医療サービスの提供について計画をたて
実施していく。
病院では、次世代の医療従事者の育成を大切
に考えているため、授業についても検討したい。

戸川の河川整備

答 山梨県では、クマ、シカ等の対策として草
刈りを実施した。また、今後も洪水に対応した
安全な河川整備を計画している。

犬のフンのないまちづくり

答 注意看板がなくてもきれいな町であるよ
うに努めていく。

バスの高校生、障がい者の無料化

答 地域交通対策を様々な検討中である。町民
の利便性向上に繋がるように努めていきたい。

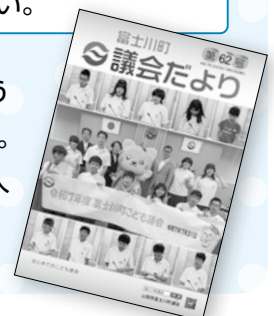
商店街の活性化

答 物産協会や商工会を通じて、地域の特産
品開発や活性化を進めたい。

自転車通行路の周知と 自転車交通安全教室の実施

答 自転車通行路に関しては矢羽根やグリー
ンベルトなどで周知していく。交通安全教室は
ヘルメット義務化が図られたため通行路の周
知と合わせて検討していきたい。

引き続き議会でも、様々な方法を考えながら、こどものみなさんの声を聞くよう
努めていきます。ぜひ要望や意見がありましたらみなさんの声を聞かせてください。
一緒に町をよくしていきましょう。令和7年度こども議員のみなさんもそれぞれ入
学や進級となりますが、富士川町議会はみなさんの活動をずっと応援しています。



令和8年度 各組合予算

三郡衛生組合議会

3月26日に令和8年第1回定例議会議会が開催され、5議案が原案のとおり可決した。

物価上昇により光熱水費は、し尿処理事業の負担金として前年より365万円増加し、火葬事業の負担金として前年より18万円増加した。

令和8年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	3,388万円	496万円
し尿処理事業	3億5,164万円	4,350万円
火葬事業	1億2,703万円	1,634万円
合計	5億1,255万円	6,480万円

峡南広域行政組合議会

3月17日に令和8年第1回定例議会議会が開催され、条例制定案1件、条例改正案1件、令和7年度補正予算案3件、令和8年度予算案3件、契約変更案1件を原案のとおり可決した。条例改正により、特別会計名を「情報センター」から「基幹業務システム」に改名した。

令和8年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	18億9,786万円	4億 999万円
基幹業務システム特別会計	4,772万円	927万円
(広域ネット負担金)		1,392万円
介護保険特別会計	2億1,769万円	240万円
合計	21億6,327万円	4億3,559万円

峡南医療センター企業団議会

3月27日、第1回企業団議会定例会が開催され、条例改正案3件、令和8年度予算案1件を可決した。

令和8年度予算(予定損益)

会計名	予算額
営業収益	43億6,789万円
営業費用	50億8,541万円
営業利益(損失)	△7億1,751万円
営業外収益	7億 179万円
営業外費用	1億6,837万円
経常利益(損失)	△1億8,409万円
当期純利益(損失)	△1億8,409万円

中巨摩地区広域事務組合議会

3月30日に3月定例会が開催され、令和8年度予算を原案のとおり可決した。

ごみ処理会計負担金の減少が主な要因で、前年より208万円の減少となった。

令和8年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	8,203万円	416万円
ごみ処理事業	15億 767万円	1億 204万円
公園事業	1,175万円	95万円
老人福祉事業	3,367万円	260万円
勤労青年センター事業	3,488万円	247万円
し尿処理事業	3億1,030万円	—
合計	19億8,030万円	1億1,222万円

山梨西部広域環境組合議会

3月30日、第1回山梨西部広域環境組合議会定例会が開催され、承認案2件、条例改正案1件、令和7年度一般会計補正予算案1件、令和8年度一般会計予算案1件、契約締結案1件を原案のとおり承認、可決した。

令和8年度予算

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	6億1,957万円	1,968万円

※単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

消防本部・北部消防署が完成し、 令和8年4月15日に竣工式が行われました



建物概要

〈建設地〉西八代郡市川三郷町下大鳥居750番地1

〈敷地面積〉13,540㎡

〈主要用途〉総務課・厚生支援課・情報管理課

内訳(議会議場を兼ねた多目的ホール)

消防本部

内訳(休憩所、男女の個室タイプの仮眠室、
シャワー室、洗濯乾燥室、体育室)

〈構造・階数〉RC造 一部鉄骨造 地上2階(庁舎棟)

〈延べ面積〉3,488.85㎡



まちづくり常任委員会 活動報告

まちづくり常任委員会では、1月20日に富士川町最勝寺にある森林総合研究所を視察しました。

森林総合研究所では、森林の保護や資源の有効活用、持続可能な森林の育成などに関する研究が行われており、森林の持つ多面的な役割について理解を深めることができました。

また、林業の自動化が進んでいることや、担い手不足の解消に向けた取り組みとして、持続可能な森林管理の実践者を育成する山梨県立農林大学

校「森林学科」についても説明を受けました。

日常生活の中では森林に目が向きにくい面もありますが、町の大部分を占める森林の価値を改めて見つめ直す必要性を強く感じました。

さらに、本町においても既に活用が進められている森林環境譲与税については、より効果的な活用に向けた検討が必要であると感じました。

今後は、今回の視察で得た知見を森林資源の活用やまちづくりに活かしてまいります。



広報常任委員会活動報告

「優秀賞」受賞

令和7年度山梨県広報コンクールにおいて、議会だより第62号が議会広報誌部門【町村部】で優秀賞を受賞しました。

審査基準は企画、文章（表現力、読みやすさ、表記などのついて）デザイン、レイアウト、写真等が加味されて評価されるものです。

常に、読みやすく見やすい紙面づくりを目指しておりますが、更に皆さんに町のこと、議会のことを分かりやすくお届けするよう、努めてまいります。



広報常任委員会メンバー

モニターさんからのご意見



表紙・巻頭写真

1頁

- 楡形山の活動内容の分かる写真で良かった。
- 実際に何の活動写真か分かりにくかったが次ページの説明で納得。
- 写真の方々の活動で楡形山の自然が守られていることを改めて感じた。
- 良かったです。

2026 町民の皆さまの新年の抱負と町政への願い

2~3頁

- 幅広い世代の思いが伝わり写真も良かった。
- 男女比が同じ位で良いと思った。
- 様々な人が暮らす町なのだと分かる構成だと感じた。

12月定例会で決まったこと

4~5頁

- 読みやすいレイアウトだと思いました。
- 審議内容が解りやすい。
- なぜ補正予算が必要なのかの理由が解りやすい説明で良い。

一般質問通告一覧・一般質問

6~9頁前半

- 通告一覧で全体像がつかみやすく、その上で質疑内容が確認できるので読みやすい。
- どの質問も重要なことだと思った。
- 問に対しての対象物を写真に示しているのは分かりやすい。

令和7年第4回臨時会

9頁後半

- 臨時会の内容説明が分かりやすい。

事務組合議会

10~11頁

- 様々な組合活動があり当町が資金面でどの様に関わっているのか様子が伺えた。
- 文字だけではなく画像があり、とても分かりやすかった。
- 2ページ同じレイアウトで飛ばしてしまいそうなので、もう一工夫がほしい。

委員会活動 まちづくり常任委員会

12頁

- 研修の様子や報告が読めて楽しい。
- 常任委員会が何をしているのかよく分かった。
- 町の8割が山林とは少し驚いた。

委員会活動 ひとつづくり常任委員会

13頁

- 前回からのこども議会のことが載っていて参加者も嬉しいと思う。
- こども議会での提案がどう反映していくか注目している。
- 読みやすいレイアウトだった。

行政視察研修

14頁

- 実際に視察研修を行って感じた良いところを活かそうとしているのはありがたい。
- 町民のことを考えて得た視点が町政に活かされているのが楽しみです。
- BCPの意味が分からず調べた。

モニターさんからのご意見 議会の放送をご覧ください。

15頁

- 毎回モニターさんからの意見を参考にしている。
- 議会の動画は議会だよりの他にも濃い内容のやり取りがあり皆さんにも勧めたい。

今昔物語 鵜沢山車行列の歴史を 紐解いてみました

16頁

- 町の歴史や文化が大切に受け継がれていることを感じ、歴史を知る機会になった。
- 調べるのが大変だと思うが毎回楽しみにしている。

その他、議会だよりの、議会活動、町政全般 についてご意見、ご要望、質問など

- 課題が取り上げられ解決に至った経緯や、出来なかったことも取り上げて欲しい。
- 一般質問モニター回答は議員の質疑に書くのが良いか、レイアウト等について書くのが良いか毎回悩む。

議会広報モニター募集!

富士川町議会では、年4回発行の議会だよりの皆様のご意見、ご感想を寄せくださる方を募集しています。モニターの皆様からいただいたご意見は、より見やすく分かりやすい議会だよりのために活かします。町政や議会に詳しくなくても大丈夫です。電話またはメールでのご応募をお待ちしております。

- 対象：18歳以上の富士川町在住の方
- 募集人数：10人
- 任期：令和8年7月から1年
- 申込期限：令和8年5月15日(金)
- お問い合わせ・申込先：富士川町議会事務局
電話：0556-22-7211
メール：gikai@town.fujikawa.lg.jp



富士川町

今昔物語

くらべてみました、
変わりゆくわが町の今と昔

富士川町のトンネル



100年前の利根川隧道 旧国道52号
(写真提供:土橋亨様)



現在の状況(旧国道52号)



ボロ電 利根川隧道
(写真提供:山梨交通様)



川を越えるため坂になった廃軌道

鬼島と鳥屋の間にかつては五開^{すいどう}隧道があった。(現在ではトンネルと呼ばれるのが一般的である。)今は壊されて切通しのような感じである。

一方、現在でも生活道路として利用されているのが町道仙洞田1号線、八幡隧道だ。建設後70年以上経過しているが地域の人にとっては大事なトンネルである。

そして、何と言っても天井川だった旧利根川の隧道が思い起こされる。旧国道52号、山梨交通株式会社電車線、八米道路の3本のトンネルである。「利根川総合整備事業」という整備事業の一つで利根川の土砂を削り取り、天井川をなくした結果天神中條と小林、長澤と長澤新町が平坦地で結ばれた。長い間役目を果たした国道・廃軌道・八米道路の三つのトンネルは姿を消すことになった。

今回は、国道と廃軌道について記事を書いてみた。

私が知る限り一番古い国道の写真である。利根川隧道と書かれている前で消防団と地区の役員さんと思われる人々の記念写真の裏には大正15年1月1日虎年と記してあり、ちょうど100年前となる。現在は、国道に架かる橋の下を利根川が流れていて昔の面影はどこにもない。

1962年に廃止された通称ボロ電の軌道は道路として利用された。当時のことを知る人の話だと、軌道は国道よりも低かったということのようだ。今は橋に向かって上り坂になっているので少し違和感がある。左側に神社の灯笼が見え、当時は石段を登って上がったということだ。坂になる手前には幅の狭い川が流れていて、小さな鉄橋があったという。電車と同じでかわい鉄橋だったに違いないだろう。利根川を渡り終えたところに懐かしいボロ電が展示されている。山と川に挟まれた富士川町のトンネルの話である。